



2017は
トラベルが
テーマ!

新入生歓迎！海外文化を英語で学ぶ 国際村“Spring Festival”4/27(木)開催 ～ご当地クイズや食を体験～

武蔵大学(東京都練馬区/学長 山崎哲哉)は、学内でさまざまな外国語や文化を楽しみながら学べる国際村“Musashi Communication Village(MCV)”*において、新入生歓迎・異文化イベント“Spring Festival”を開催します。

5年目の開催となる今回は「トラベル」をテーマとし、オーストラリア/フィリピン/アイルランド/イタリア/ドイツの5ブースを開設。参加者は“搭乗券”を受け取り、各国のブースをまわる中で、ローカルスナックを味わいながら、英語で進行される簡単な言語レッスンやトリビアクイズへの挑戦、文化やアートなどのプレゼンテーションを体験。楽しく異文化に触れることができ、例年人気のイベントとなっています。

【Spring Festival 開催概要】

- 日時：2017年4月27日(木) 16:20~17:50
- 場所：武蔵大学1号館3階 MCV
- 内容：国ごとのブースで、その国ならではの文化・食事・言語・アート・国民性などに触れ、異文化を体験する(全ブース英語にて進行)



【MCV スタッフからのメッセージ】 イベントを通してさまざまな国の言語、文化や歴史に興味をもってもらい、新入生や、外国語に対してハードルが高いと感じている学生が MCV を利用するきっかけになればと思っています。



昨年の Spring Festival では・・・

アメリカ/アルゼンチン/イタリア/台湾のブースが設けられ、1時間半の間に、各ブースで行われる異文化体験やその国・地域の食べ物、飲み物の試食等を通して世界を楽しめるということで、60名近くの参加者で賑わいました。サンフランシスコ・アメリカ中西部ブースではその地域にまつわるトリビアに耳を傾けたり、クイズに挑戦したり、最後には日米のスナックの味の違いを試しました。台湾ブースでは、日本の平仮名にあたる台湾の「注音符号」や中国の「ピンイン」のレッスンを実施。アルゼンチンブースで振舞われたマテ茶、台湾のソーセージ、北米のルートビアは、多くの学生にとって初挑戦のもの。驚きの異文化体験になったようです。イタリアブースの手作りティラミスは特に好評でした。

* Musashi Communication Village (MCV) とは・・・

MCV は、英語をはじめとした外国語や異文化を学ぶための「国際村」です。無料の英会話レッスン(グループまたは1対1)をはじめ、外国人スタッフや学生スタッフとのフリートーク、外国語学習カウンセリングを行っています。また、外国の習慣や文化を体験できる、異文化体験イベントのほか、英会話をしながら料理をつくるクッキングクラスなどのアクティビティも豊富に開催しています。

学生が MCV スタッフとして運営に参加することもでき、「グローバル人材(異文化理解力・企画力・実行力)」を向上させることができます。



■ 武蔵大学 【アクセス：西池袋線「江古田駅」から徒歩6分】 ～都心に近く 緑豊かなワンキャンパス～

東武鉄道や東京地下鉄(現東京メトロ)など多くの鉄道事業に携わり、政財界で活躍した根津嘉一郎(初代、1860~1940)が、1922(大正11)年に“武蔵大学”の前身である旧制七年制武蔵高等学校を創設。その後の学制改革により、1949(昭和24)年4月武蔵大学(経済学部経済学科)開設。現在は、経済学部(経済学科/経営学科/金融学科)、人文学部(英語英米文化学科/ヨーロッパ文化学科/日本・東アジア文化学科)、社会学部(社会学科/メディア社会学科)の3学部8学科からなる文系総合大学。学長 山崎哲哉